

決算のご報告 2018.02.01～2019.01.31

59th
BUSINESS REPORT
Spring

菱洋エレクトロ株式会社

証券コード：8068

株主の皆様へ

当社第59期ビジネスレポート・春号をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。



代表取締役会長
小川 賢八郎

代表取締役社長
中村 守孝

当期の概況

当連結会計年度（2018年2月1日～2019年1月31日）における国内経済は、企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調が継続したものの、海外の政治・経済情勢への懸念や金融市場の変動などの影響を受け、先行きに対して慎重な見方が強まりつつあります。

当社グループの属するエレクトロニクス業界におきましては、自動車や産業分野などを中心にAIやIoTを活用した技術の実用化に向けた取り組みが加速し、市場の拡大や企業のIT関連投資の増加が続いた一方、米中貿易摩擦の長期化による影響を懸念する動きも広がっており、分野によって好不調の入り混じった状況となりました。

当連結会計年度の売上高は、937億99百万円（前期比1.7%増）、営業利益は12億57百万円（前期比400.1%増）、経常利益は14億74百万円（前期比241.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10億20百万円（前期比379.5%増）となり、利益面では前期より在庫評価損等が減少したことから、それぞれ大幅増益となりました。

中期的な取り組み

当社グループは、3ヶ年ビジネスプランのスタートに先駆け、2018年3月にビジネスユニット制への移行を行い、2019年2月にはICT事業とIoT事業の融合を図る目的でソリューション事業本部を設置し、ビジネス獲得機会の拡大やソリューションビジネス創出の加速を進めるなど、新たな価値創造に向けた地盤を整えております。

今回策定いたしました3ヶ年ビジネスプランにおいては、高付加価値型企業への変革を目指し、「商社本業の再構築」、「Only RYOYOへの挑戦（当社固有の強みの創出）」、「経営インフラの充実」を戦略の骨子として取り組んでまいります。なお、当社の新たな付加価値の源泉となる研究開発活動を本格的に開始し、2019年1月11日付で音声認識システムおよび音声認識装置に係る発明が特許として登録されました。

当社グループは、企業スローガンである『すべてを、つなげよう。技術で、発想で。』の下、「VALUE and PRIDE」を行動指針として掲げ、「全てがつながるスマート社会」に感動を与えるソリューションパートナーになる」というビジョンの実現を目指してまいります。

株主還元について

当連結会計年度の株主還元につきましては、安定配当をベースに総還元性向：100%を基本方針としており、期末配当につきましては1株につき30円、中間配当金とあわせて年間配当金を60円とさせていただきます。

なお、次期の配当につきましては、さらなる株主還元の強化を目的として、新たに純資産配当率（DOE）3%を目標とした安定的な配当の実施を基本方針としてまいります。本方針に基づき、年間配当金につきましては、当期から20円増配となる1株につき80円（中間配当金40円、期末配当金40円）の予定とさせていただきます次第です。

		1株当たり配当金		
		中間	期末	年間
20.1期	(予想)	40円	40円	80円
19.1期	(実績)	30円	30円	60円
18.1期	(実績)	30円	30円	60円

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年4月

品目別売上高の概況

当連結会計年度の売上高は937億99百万円（前期比1.7%増）となりました。

■ 半導体/デバイス

売上高は499億6百万円で、前期より10億18百万円（2.0%）減少しました。

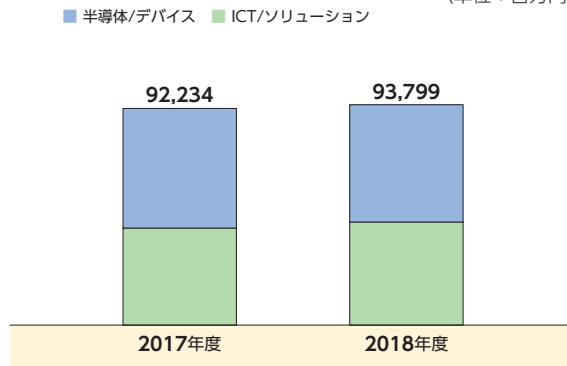
これは、半導体メーカーの政策変更によりPC周辺機器向け半導体が減少したためです。

■ ICT/ソリューション

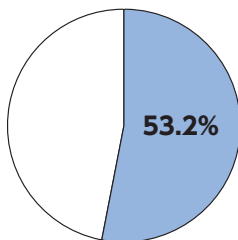
売上高は438億93百万円で、前期より25億83百万円（6.3%）増加しました。

これは、主にパソコン用ソフトウェアやAI・Deep Learning用途商材が増加したためです。

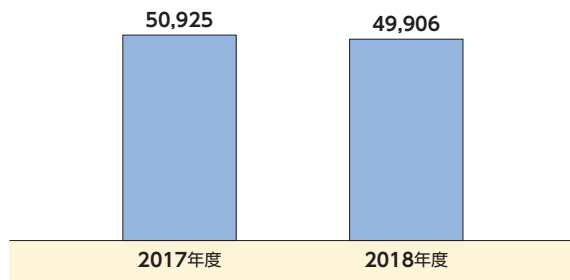
（単位：百万円）



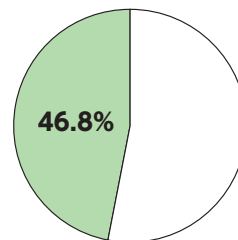
■ 半導体/デバイス



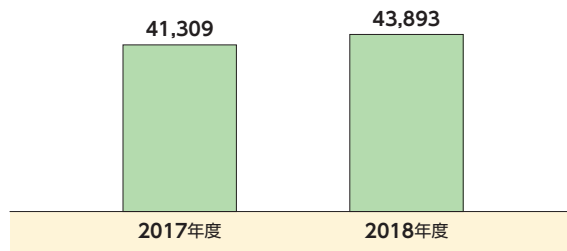
（単位：百万円）



■ ICT/ソリューション



（単位：百万円）



主要仕入先(半導体/デバイス)

仕入先名	取扱開始年	Analog/ MSIG	Logic	Memory	RF/Opto/ Power	EOL Product	Electronic Device
三菱電機	1961				●		●
Intel	1976		●				
TDKラムダ	1985						●
Macronix	1994			●			
ルネサス エレクトロニクス	2003	●	●	●	●		
Unicorn Electronic	2004						●
NVIDIA ※	2005		●				
サイレックス・テクノロジー	2006						●
セイコーインスツル	2007						●
Marvell Semiconductor	2007		●				
TDK	2007						●
AP Memory (Zentel) ※	2007			●			
Lantiq	2009	●	●				
OSRAM Opto Semiconductors ※	2010				●		
Rochester Electronics	2011					●	
Semtech	2012	●	●				
青電舎	2015						●
エイブリック	2016	●		●			
MPS	2016	●					

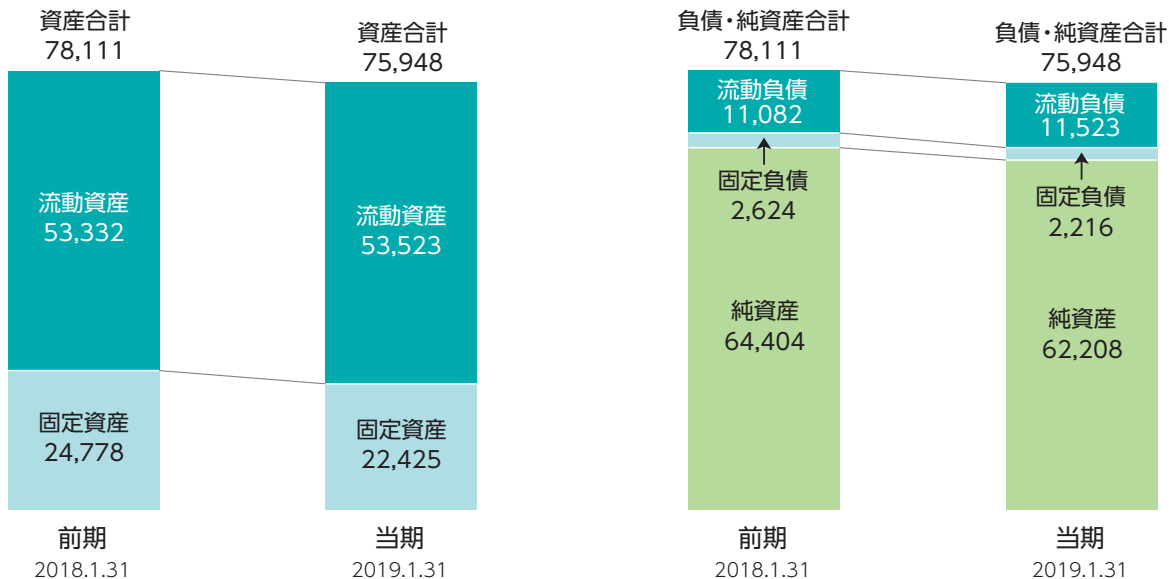
※リョーヨーセミコン (100%出資子会社) 取り扱い仕入先

主要仕入先(ICT)

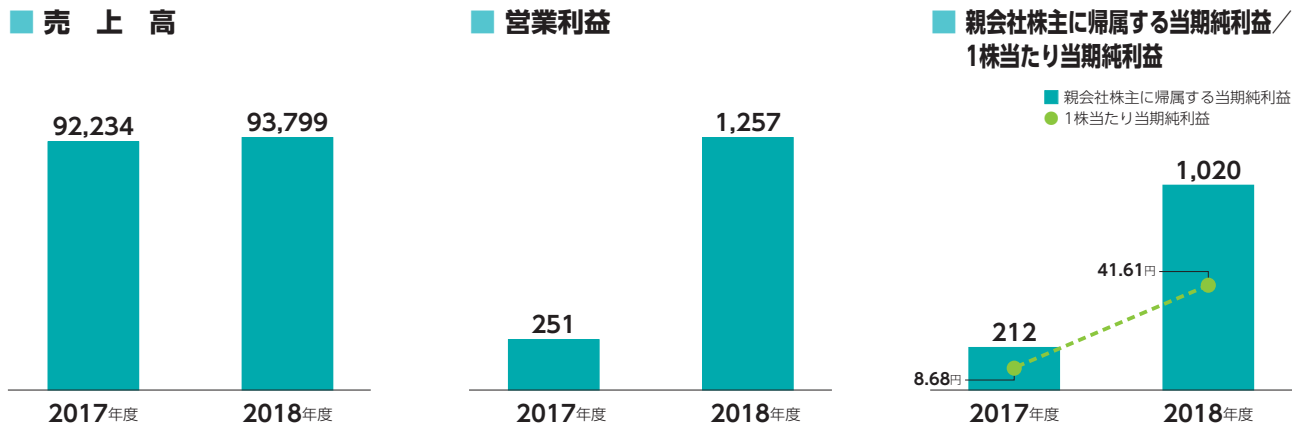
仕入先名	取扱開始年	サーバー パソコン	ストレージ ネットワーク	モニター プロジェクター	プリンター プロッター	ソフトウェア	周辺機器 組込機器 他
三菱電機	1961			●	●		
セイコーエプソン	1978	●		●	●		
Hewlett Packard Enterprise/HP	1986	●	●		●	●	
京セラドキュメントソリューションズ	1987				●		
Oracle	1988	●	●				
Microsoft	1994					●	
ハギワラソリューションズ	2001						●
ダックス	2003						●
NVIDIA	2005						●
McAfee	2010					●	
富士通	2010	●	●				
図研エルミック	2012					●	
Empress	2013					●	
Philips	2013			●			
シャープ	2016		●				
ABLOY	2016						●
ウフル	2017					●	
Afero	2017					●	
WatchGuard Technologies	2017		●				

連結財務諸表 (要旨)

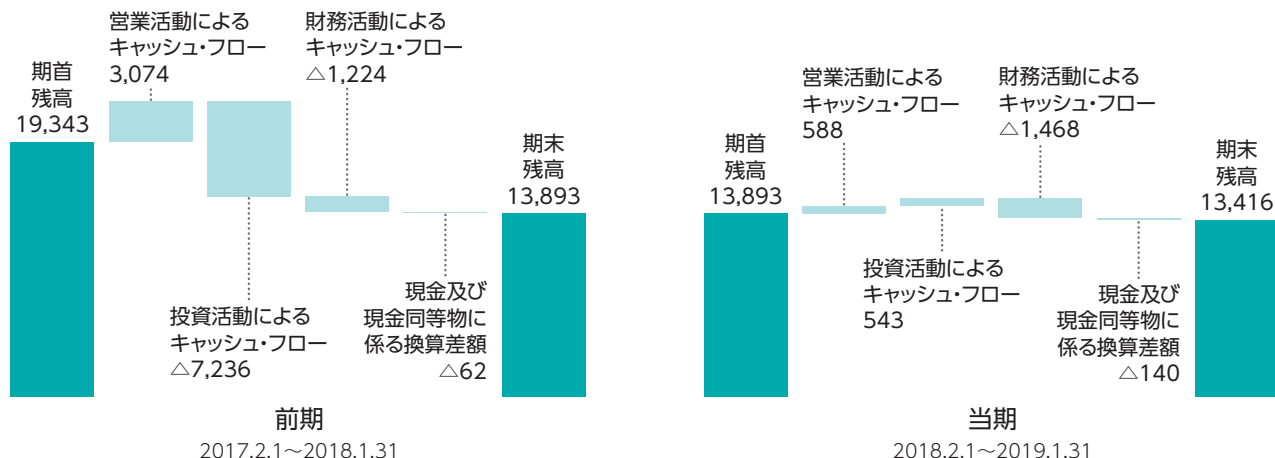
連結貸借対照表 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



セグメント情報 (所在地別)

日本

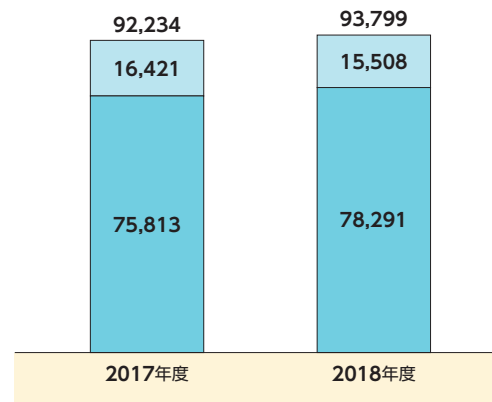
パソコン用ソフトウェアやAI・Deep Learning用途商材が増加したことにより、外部顧客への売上高は782億91百万円で、前期より24億77百万円 (3.3%) 増加しました。セグメント利益は11億33百万円で、前期より在庫評価損等が減少したことから9億69百万円 (589.7%) 増加しました。

アジア

通信機器向け液晶が減少したことにより、外部顧客への売上高は155億8百万円で、前期より9億12百万円 (5.6%) 減少しましたが、売上総利益率が改善したことによりセグメント利益は1億41百万円で、前期より56百万円 (66.8%) 増加しました。

(単位: 百万円)

■ 日本 ■ アジア



会社の概要

(2019年4月25日現在)

会社データ

商号 菱洋エレクトロ株式会社
(RYOYO ELECTRO CORPORATION)

本店 東京都中央区築地一丁目12番22号

設立 1961年2月27日

資本金 136億7,200万円

従業員数 連結：526名、単体：478名
(グループ総人員：624名)
※2019年1月31日現在

役員

代表取締役会長 小川 賢八郎

代表取締役社長 中村 守孝

取締役 脇 清 田辺 正昭
玉越 義紹 岡崎 靖
安田 誠樹

社外取締役 早川 吉春 白石 真澄

常勤監査役 堀切 豊

社外監査役 木村 良二 野辺地 勉
秋山 和美

執行役員

常務執行役員 脇 清

上席執行役員 田辺 正昭 玉越 義紹
岡崎 靖 安田 誠樹

執行役員 鈴木 秀樹 大橋 充幸
筑波 満 武石 光弘
佐野 修

国内・海外ネットワーク



株式の状況

(2019年1月31日現在)

RYOYO

- 発行可能株式総数 119,628,800株
- 発行済株式の総数 26,800,000株
- 株主数 7,010名

■ 大株主（上位10名）

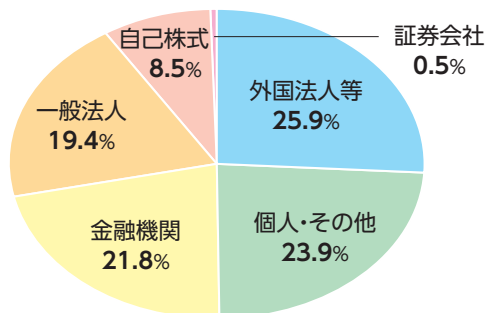
株 主 名	株式数(千株)	持株比率(%)
1. CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	3,863	15.76
2. 三菱電機株式会社	2,246	9.16
3. エス・エッチ・シー有限公司	2,118	8.64
4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,858	7.58
5. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,165	4.75
6. 株式会社シーブ商会	523	2.13
7. 日本生命保険相互会社	409	1.67
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	391	1.60
9. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	335	1.37
10. SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	288	1.18
合 計（1～10）	13,201	53.84

(注) 1. 上記大株主のうち、信託銀行2行の持株数は全て信託業務に係る株式であります。

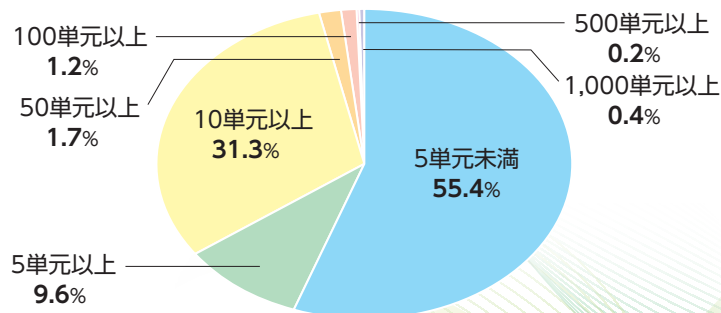
2. 上記の他、当社保有の自己株式が2,278,591株（8.50%）あります。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株主数分布状況



株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期にわたって多くの方に当社株式を継続して保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

● 制度の概要

(1) 対象となる株主様

毎年1月31日時点の株主名簿に記載または記録され、以下のいずれかに該当する株主様を対象といたします。

- ・当社株式を10単元（1,000株）以上保有する株主様
- ・当社株式を5単元（500株）以上保有し、かつ、1年以上継続して保有する株主様（※）

※1年以上継続して保有する株主様とは、毎年1月31日時点を基準として、同一株主番号で前年1月31日および7月31日時点の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様といたします。

(2) 株主優待の内容

「ギフト商品（3,000円相当）」および「会員限定優待サービス（※）」

※国内の宿泊施設、レジャー施設、暮らしに役立つライフサポートメニュー等を特別価格でご利用いただける会員限定優待サービスです。

● 会員限定優待サービスの一部をご紹介します

トラベル



国内約25,000軒のホテル・
旅館が

最大80%OFF！

ライフ サポート



あなたの家を快適で安心な
住まいにするサービスが

会員優待価格で！

レジャー



全国約1,000か所の遊園地・
テーマパークが

最大65%OFF！

スポーツ



全国約2,500か所以上の
スポーツクラブが

会員優待価格で！

※会員限定優待サービスの詳細は、https://www.club-off.com/ryoyo/apps/top/fftop_main.cfmをご参照ください

株主メモ

- 事業年度 2月1日から翌年1月31日まで
- 定時株主総会 4月
- 株主確定基準日 期末配当 1月31日（中間配当を実施する時は7月31日）
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所第1部
- 証券コード 8068
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告により、当社ウェブサイトに掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、
日本経済新聞に掲載いたします。
<公告掲載アドレス> <https://www.ryoyo.co.jp/ir/public-notice>.

株式に関するお手続きについて

- ☐住所変更、単元未満株式の買取・買増のご請求は、口座を開設されている証券会社にお問合せください。
なお、当社の単元未満株式の買取および買増請求に係る手数料は無料としております。
(証券会社等で別途手数料が発生する場合がございますので、詳細はお取引の証券会社等へご確認ください)
- ☐未払配当金のお支払い、特別口座に記録された株式に関する諸手続き、その他株式事務に関する一般的なご質問は、
下記へお問合せください。

お問合せ先 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (通話料無料)
 (土・日・祭祭日除く9:00~17:00)

菱洋エレクトロ株式会社

〒104-8408 東京都中央区築地一丁目12番22号 (コンワビル)

TEL: 03-3543-7711 (代表) FAX: 03-3545-3507



菱洋エレクトロは
Tリーグを応援しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この印刷物は、環境に配慮して「森林認証紙」、「植物油インキ」、「有害な廃液を出さない水なし印刷方式」を採用しています。